

日時：令和4年8月19日7:00～8:00

会場：各施設（Web Meeting；Zoom 使用）

参加者（22名）；吉田剛委員長 川端茂徳 岩崎博 寒竹司 小林和克 重松英樹 後迫宏紀

谷口慎一郎 橋本淳 船場真裕 町野正明 森戸伸治 高橋雅人 安田明正 山田圭

山本直也 和田簡一郎 黒須健太 安藤宗治 高谷恒範 各委員（敬称略）

今釜史郎 松山幸弘 各アドバイザー（敬称略）

欠席：田所伸朗 藤原靖 中西一義（敬称略）

■議題1：モニタリング委員会

・松山幸弘先生より日本医大 中西一義先生の JSSR 脊髄モニタリング委員へのご推薦があり竹下担当理事に報告させて頂いた。本日モニタリング全委員の承認も得られた。吉田委員長より今後のモニタリング委員会の活動の課題について説明があり、引き続き各委員に分担して業務を遂行して頂くことを再確認した。

■議題2：モニタリングデータベースについて

・2021年のモニタリングデータベースは2027例の症例が集まり、2017年より累計7000件以上がデータベース化された。町野委員の提案でデータベースの活用は委員を中心として行い、その同門や同僚でも使用が可能であるが、委員会での提示、承諾を要することが必要と決定された。

JSSR データベース委員会より JOANA, JSSR データベース入力に関し、モニタリング成績と合併症の整合性が得られないケースのクレンジングについてモニタリング委員会での検討依頼があった。まず脊髄誘発電位測定についての判定基準の定義を収載すること、「脊髄誘発電位アウトカムと術後合併症_神経症状・筋力関連項目に不一致があります」とのエラー表記を行うことについてモニタリング委員会の承認を得た。

■議題3：モニタリング認定医申請・審査

今年度における申請者54名の内、保留となった23名に対して再審査を行い、再々審査が5名（再保留4名、修正未提出1名）となった。申請者1-3：波形導出不能例、波形に対する手術操作・イベント入力不備、申請者4：胸腰椎手術に対する上肢コントロール波形未取得であったが、事務局で提出された波形を再評価し、再度審査員の先生方と討議し合格を満たす資料と判断した。申請者5についてはコロナの影響を受け、再提出困難との事であったが、再々審査の依頼をおこなった後に再度事務局で判断する形となった。

また次年度の認定に関して、モニタリング波形（見本）で、波形を記録したタイミングの手術操作などの記載、コントロール波形の必須、波形の間隔を大きくするなどの注意点を盛り込むことを確認した。また参考図書の引用として臨床神経生理学学会からのモニタリング指針を活用することとなった。松山アドバイザーからは認定医審査では不合格が出ないような配慮が必要とのご指摘があった。

■議題4：モニタリング認定医講習、試験監督

・2023年4月15日（土）札幌にて第21回脊椎脊髄病研修コース第IVコース（モニタリング脊椎脊髄病研修コース）が開催される予定である。講義1. 脊髄モニタリング総論を重松英樹先生、講義2. 運動系・感覚系モニタリング各論を高橋雅人先生、講義3. 脊椎脊髄手術モニタリングのアラームポイントと合併症対策を吉田剛先生が担当することとなった。試験監督は吉田剛委員長、後迫宏紀、黒須健太委員が担当することとなった。

■議題5：研究進捗

下記8委員からのモニタリング研究進捗があった。

奈良医大、重松先生

山口大学 船場先生

浜松医科 後迫先生

久留米大学 森戸先生

杏林大学 高橋先生

東京医科歯科 橋本/川端先生

浜松医大 黒須先生

浜松医大 吉田先生

■その他：

・次回開催予定日：2022年11月26日（土）朝、現地とWebによるHybrid Meetingを予定

会場予算については、現在谷口慎一郎先生が確認中であり、軽食、音響含め約18万程度になる見込みであり、見積書を担当理事に提出予定

以上